

学校のPTA・育友会が、組織を融合したり、地域諸団体も互いに連絡を強めたりしながら、学校・家庭・地域社会が中学校区を単位に一体となつて、子どもの教育にたずさわることができるような地域づくりを進めていかなければならないと考えています。

④最終答申では、多久市内の学校は
一校ということになるのか？

一校になることを特に望んでいるわけではありません。三中学校区の体制を維持できれば、それに越したことはありません。そのためには、地域活性化などの取り組みが同時並行して進む必要があります。

スクールバスについて

①通学対策については、どのように
考えているか？

スクールバスの対象は、中学校で3〜4キロ、小学校で2〜3キロ以上の子どもを基本に考えています。下校時は、小学校低学年、小学校中・高学年・中学生、中学生部活・放課後児童クラブなどの児童生徒それぞれの学校生活に合わせた運行を考えられています。地域ごとの細かな事情もありますので、改めて地域の皆さん

と相談しながら進めていきます。

②利用は無料なのか？

基本的には、児童生徒は無料と考えています。

このほかにも次のような

ご意見・要望をいただきました

- 受験学力に振り回されることなく、知・徳・体のバランスのとれた小中一貫教育のカリキュラムをつくり上げてほしい。
- 小中一貫教育にこだわらず、中学校間、小学校間の統合でもいいのではないか。
- もっと時間をかけて話し合うべきである。慎重にやってほしい。
- 学校があるから人が住むようになるというのは甘い考えだと思う。学校だけではだめで、商業施設や病院、街のにぎわいも必要だろう。
- 学校の統廃合は、各コミュニティとの住み分けも考えなくてはならず、各論となると難しい課題がある。とりわけ関係する者にとつては苦しいものだ。しかし、それぞれの地区や地域なりの方法を編みだして盛り上げていくことも必要ではないか。
- 人口が減れば、統廃合はしかたないことだ。教育充実のことを考え

ると、多くの保護者が統合してほしいと思っている。

●市全体の教員数が減るのではないかと。

●先生たちの間では、どのように受け止められているのか。

●制服が変わって保護者の負担が増えないか。

●家から学校まで全部をスクールバスに乗せたくはない。子どもの体力のことを考え、歩かせたい。

●スクールバスの利用ができるようになれば、現在、送迎をしている働きざかりの婦人が安心して仕事等に打ち込めるのではないかと

●スクールバスの安全な乗車場所を確保してほしい。

●将来の課題・問題が見えているのに何もしないことが問題だと思う。多久市の教育をどう向上させるか、運営、改善していくかが最も重要であり、小中一貫はその器になるように感じた。今後より良い議論、特に具体的な中身を期待している。

説明会ではたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。今後の「学校規模の適正化と適正配置」の検討に活かしてまいります。

【ご意見をお寄せください】

「多久市の小・中学校における学校適正規模・適正配置のあり方」について、皆さまからの書面でのご意見を募集しています。ご意見等に対する個別の回答はできませんが、今後の検討の参考にさせていただきます。

提出方法

次の方法からお選びください。

① eメール

kyoui-toukatsu@city.taku.lg.jp

② FAX

75-22279

③ 郵送

〒846-8501(住所不要)

多久市教育委員会事務局

教育統括室宛

○直接お持ち込みの場合は市役所4階の教育委員会事務局までお願いいたします。

○様式は問いませんが、差しつかえなければ、住所・氏名・電話番号をご記入くだされば幸いです。

■問い合わせ

多久市教育委員会事務局
教育統括室
☎75-3450